



平成 18 年 8 月 4 日

業績予想の修正に関するお知らせ

上場会社名 プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
(コード番号 7707)
本社所在地 千葉県松戸市上本郷 88 番地
問い合わせ先 取締役業務本部長 秋本 淳
TEL 047-303-4800 URL <http://www.pss.co.jp>

最近の業績動向等を踏まえ、平成 17 年 8 月 12 日に公表した通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正 (平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,550	30	270
今回修正予想 (B)	3,636	18	250
増減額 (B - A)	86	12	20
増減率	2.4	40.0	-
(ご参考) 前期実績 平成 17 年 6 月期	3,215	111	64

2. 通期単体業績予想の修正 (平成 17 年 7 月 1 日 ~ 平成 18 年 6 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,930	10	230
今回修正予想 (B)	3,060	81	192
増減額 (B - A)	130	71	38
増減率	4.4	710.0	-
(ご参考) 前期実績 平成 17 年 6 月期	2,861	118	102

3．通期連結業績予想の修正理由

主力 OEM 先であるロシュグループ向け販売が、予想を上回り好調に推移したことから、売上高は、予想を 2.4%上回る 3,636 百万円へ修正となりました。

しかしながら、OEM 以外のスポット取引において、思うような利益を上げられない案件が存在したこと、また、販売費及び一般管理費に関しても、海外子会社の諸経費が若干増加したことなどから、経常利益では、予想を 40.0%下回る 18 百万円へ修正する結果となりました。

また、ドイツ子会社の法人税等充当額の費用負担が、予想よりも少ないものとなったことなどから、当期純利益は予想から 20 百万円改善し、 250 百万円の見通しとなりました。

4．通期単体業績予想の修正理由

主力 OEM 先であるロシュグループ向け販売が好調であったことに加え、単体決算においては、ドイツ会社との機器販売や製品ロイヤリティーなどのグループ内取引の増加が影響し、売上高は、予想を 4.4%上回る 3,060 百万円へ修正となりました。同様の理由から、経常利益に関しても、予想を 710.0%上回る 81 百万円へ修正となりました。

また、単体決算においては、国内子会社であるユニバーサル・バイオ・リサーチ(株)の保有株式の評価損として 38 百万円を特別損失に計上することとなりましたが、同負担を吸収し、当期純利益は予想から 38 百万円改善し、 192 百万円の見通しとなりました。

5．来期の見通しについて

来期（平成 19 年 6 月期）の見通しに関しましては、正式には決算発表時に公表する予定ですが、その概要は以下のとおりであります。

ロシュグループ、キアゲングループ、(株)三菱化学ヤトロンの主力 OEM 先 3 社に関しましては、会社別に増減はあるものの、トータルとしては、ほぼ当期並みの実績確保は可能と考えております。一方で、新規 OEM 先である米国インビトロジェン社向けの販売が開始されること、および国内大手臨床検査センター向けの大型受注案件である特注機器の売上也期待できることから、売上高に関しては、当期比で 200～300 百万円程度の増収が期待できるものと考えております。また、増収に伴い、売上総利益についても 100 百万円前後の増益確保は可能と考えております。

販売費及び一般管理費に関しては、当期中途採用した海外従業員の人件費などが通期で負担となる他、諸経費の増加などから 50～100 百万円の増加が予想されます。一方で、当期に特別損失として計上した減損損失 237 百万円の費用負担は無くなります。

以上のような要因を総合的に勘案し、経常利益及び当期純利益ともに、若干の黒字見通しになるものと考えております。

以 上